愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	幼稚園実習理解		
担当者(Instructors)	梶浦 恭子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

教育実習（幼稚園）は、教育者としての愛情と使命感を深め、教員になるうえの能力や適性を考え感覚を磨くこと、養成校のこれまでの各自の学びを実践する経験によって自らの課題を自覚する機会である。授業は、実習生として実践するための、園の教育活動に参画する意識を高め、教員免許取得までに習得すべき知識や技能がある事前事後指導の理解をする等、様々な基礎習得を目指す。これらの内容の理解を通して実習の意義を理解し実践する演習形式である。なお、オンデマンド授業となった場合の質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	実習に関わる講義と演習形式 ・提示資料の課題についてグループワーク、ディスカッションをする。 ・事例を読み、ビデオ視聴後のレポート作成や小テストをする。 ・3歳児～4歳児対象を想定した模擬保育を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション ・実習の意義・目的と課題	・実習生として・遵守すべき義務の理解・観察、参加、実習の実践方法(責任)教育者の適性・実習日誌、実習園の理解（教育内容・方針）	□
第2回	実習の心構え ・幼児期の特性・幼稚園、こども園理解	・社会人として、どのような態度や行動で実習に臨むか ・疑問、質問の確認　・説明、伝達、報告の場面 ・健康管理　　・名札や準備物（保育教材）作成	□
第3回	実習訪問の心構え ・実習課題「実習にあたって」の立て方、考え方 （6月、9月） ・実習訪問時の持ち物	・事前訪問で聞いておきたい園内ポイント ☒　園の概要、園基本方針、行事、実習の日程 ・実習生の心得ポイント　自己紹介(授業テスト) ☒　観察方法、準備と自己課題、名札と指導案	□
第4回	訪問担当教員確認と依頼 ・園訪問内容の報告の在り方 ・事前訪問日のための電話対応と訪問先でのマナー	実習訪問報告書記録から園情報を整理し報告 ・園課題の準備（絵本の選択、ピアノ表現技術対策） ・腸内検査配布等（実習開始日持ち物）説明	□
第5回	部分指導案の作成（１）	適切な部分指導案の作成（日誌を踏まえた） ・遊びや身近な生活場面の姿から教材を選ぶ ・ごっこ遊びや絵本等から、得た遊びをすること ・幼児・保育者の内面理解の創造	□
第6回	実習日誌の書き方 ・現場保育者（園長先生または実習指導教員による記録の書き方指導）	実習日誌の地道な記録の意味 ・記録攻略方法（自己課題とねらい） ・適切な部分指導案の作成（日誌を踏まえ）	□
第7回	一日実習指導案の作成（２） ・自己課題の自覚(実習目的)とその記述内容	年齢や発達を踏まえた教材選び　季節の遊び、パネルシアター、ペープサート、指人形	□
第8回	保育実践のための準備	模擬保育準備 ・教材選びと指導案作成	□
第9回	部分保育のための実践 ・手遊び、主活動の導入、展開、まとめ	模擬保育の実践に向け ・教材の環境構成と指導案の導入 ・自己課題（面談とその準備、課題に向け）	□
第10回	実習記録の書き方 ・一日の記録、エピソード記録	実習記録の記述方法（先輩の記録参考） ・「エピソード記録」つまずき場面の事例を基に	□

第11回	保育実践のための部分指導計画の立て方 ・環境構成と導入	「環境構成」欄記入内容と導入について ・「子どもの予想される活動の姿」と「援助と配慮」についての理解	□
第12回	保育実践のための部分指導計画の立て方 ・展開内容と結び	導入、展開、結びまでの活動計画の作成と模擬保育 ・指導案と模擬保育(授業内テスト)	□
第13回	一日実習指導計画の立て方 ・朝の会～昼食まで　・昼食後の遊び～降園まで	・朝の会、クラス全体、昼食、自由にあそびを選択する時間、帰りの会の各指導案作成(授業内テスト) ・事後の個別面談に向け（自己評価のための記録）	□
第14回	模擬保育から学ぶエピソード記録とは ・幼稚園教諭としての資質能力について	エピソード記述の記録方法理解 ・習得すべき知識や技能の到達度	□
第15回	まとめ ・幼児への愛情と使命感が深められるか ・教員の能力や適性を持ち合わせているか	総まとめ ・課題の確認（園へ向けて課題レポート） ・お礼状と幼稚園実習報告書（様式説明）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

幼稚園実習の流れや園の実際を知るため以下の予習や復習内容　・実習園を研究し、実習計画に照らして教材研究を行い、指導計画を作成すること、　・自己課題の視点を確認して実習に臨む、前期実習についての省察を踏まえて、後期実習の目標を明確化し、取組む計画を立てる等、を理解する。 授業前、提示した予習課題を見直し、テキストや資料の該当箇所を熟読（2時間程度）する。授業後は、予習課題に取り組む（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出されたレポートは、添削・採点の上で返却します。典型的なレポートは紹介し、フィードバックし、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	幼稚園教員になるための免許と資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけている。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	現代の教育・保育の現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことができる力強い思考力・判断力を持ち、豊かな表現力を習得できている。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

●授業内試験(30)　●授業の振り返りレポートとビデオやテキストや資料等から、疑問・意見・課題のまとめ・ディスカッション記録のまとめ(30)
●自己紹介（名札）,手遊び,絵本の読み聞かせ,保育の導入、展開、まとめの実技　(20)
●「実習にあたって」自己課題3項目（20）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド	978-4907270193
2	実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド	978-4907270155
3	「幼稚園教育要領」（平成29年3月告示　文部科学省）	978-4-577-81422
4	「幼稚園教育要領解説」（文部科学省）フレーベル館	978-4-577-81447-5
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適時提示する	
2		
3		
4		
5		